

連載  
108回

## くにごの県庁見聞録

## 痛ましい被災状況

## 地震発生

（くにご）怖かった。机の下にもぐりましたけど、体が浮いちゃって、本当に怖かった。つい先日橘地区の防災訓練で地震体験をしましたけど、その時よりも実際は本当に恐ろしかったです。県庁の9階からだと赤レンガ倉庫や港もすぐ近くに見えるんです。人々が建物の外に避難しているのがよく見えましたよ。すぐ隣の6階建て位のビルの揺れ方がすごかったんで、倒れるか

（司会）怖い地震でしたね。（くにご）すごかったです。

（司会）くにごさんは地震発生時はどこにいらしたんですか？

（くにご）県庁にいました。サッカー議員連盟の総会開催中だったんですが、ドンと来た後、横揺れがすごかったですね。

（司会）9階じゃすぐ揺れたでしょう？



神奈川県議会議員

小川くにご

川崎市高津区久本2-7-34

☎044(865)1313

☎044(888)3600

http://www.kinet.or.jp/seseragi/

（くにご）怖かった。机の下にと思いまして、（司会）横浜では、川崎より被害が大きかったようですね。（くにご）ええ、報道もされてましたけど、ビルの外壁や駅舎の屋根が崩れたり、町は騒然としていました。（司会）そうでしょうね。

（くにご）地震が起きた11日は議会調整日で、県議会最終日の準備を整える為の一日なんですけど、あまりにすごい地震と、その後の余震の強さに、一時職員も議員も建物から避難したんです。新庁舎と分庁舎を結ぶ廊下の接続部分を中心に建物に亀裂が走り、階段も崩れ、外壁が崩落し

て、その建物に入っている事自体に危険を感じました。（司会）震源地から遠く離れたこちらでもこんな状態ですから、現地ではさぞ大変な状況でしょうね。

## 国家の一大事

（くにご）そう、国家の一大事です。これだけ大規模な被災状態ですし、まだ断続的に余震が続いています。本県でも可能な限り被災地への支援をするべきです。14日の議会最終日に、異例ですが県内の被災状態や支援策を把握する為に常任委員会を開いたんです。途中で東電からの緊急連絡が入

るなど緊迫した内容でした。今後予想される大きな余震に備えるなど、今後やるべき事は山積みですよ。（司会）計画停電が4月いっぱい行われますし、断水も心配されるなど神奈川県でも生活が一変しますね。（くにご）被災地は、ことは比較できないほど痛ましい状況なんです。私達も我慢すべき所は我慢しなければと思います。こういう時に行政や議会は何をすべきか？何ができるのか？5百年、千年に一度の大災害ですから、対策を検討し直すべきです。（司会）それにしても、観測史を塗り替える大地震の体験ですから、今後の対応を再考せざるを得ませんね。（くにご）片山総務大臣が被災地での統一地方選挙の期日を延期する可能性を示唆しましたね。こんなに

## 何よりも「安全・安心」

（司会）そうですね。高津区でも家族や友人が被災した方々は多いですよ。（くにご）そういう方々の気持ちを思うと、胸が痛みます。私も仙台の友人と連絡が取れないし、岩手の親戚の消息がわからない。こういう時こそ皆の心を寄せ合って、助け合わなければ！そして、何よりも安全・安心／安全で安心できる社会を作る為に、私は再びがんばります。

## くにごのプロフィール

- 久本在住、夫・小川栄一
- 都立小石川高校卒
- 早稲田大学第一文学部英文学学科卒
- 元横浜YMCA予備校英語科講師
- 川崎北部菊花会会長
- 高津親睦ソフトボールリーグ顧問
- 高津区ゲートボール協会副会長
- NPO法人理事（在宅介護支援施設）